

V.o.S

知って得するお得意様とのホットコミュニケーション誌

2012年1月20日



1月号

vol.61

発行：ストラパック株式会社 営業企画室

年頭のご挨拶 ● San-San会会員・年頭ご挨拶 東西San-San会定時総会開催 ● 被災地へ梱包機貸し出し 製造部移転 ● 新製品トピックス ● ジャパンパック2011終了報告

謹賀新年



旭日に染まる槍ヶ岳 (3,180m) ヒュッテ大槍 (2,884m) にて 撮影：下島敏男

2012年国際競争が激化する中で勝ち進むために

ストラパック株式会社 代表取締役社長 下島敏男



特注品は日本で作るの、コスト削減が困難でこれには大変困っています。しかしながら、泣き言をいっていても仕方ありません。政府や諸官庁の政策や対応への不満はたくさんありますが、泣き言はいわずに自力で何とか切り抜けて行かなければならないと、昨年来、従業員にも説明し、会社と社員が一体となって難局を切り抜けて行くよう努力を進めております。一昨年初、ストラパックグループに入ったニチロ工業と当社との統合を、今年中に完了させたいと思っています。同じ業界にいたとはいえ、企業文化・体質には差異があり、それを埋めることは簡単ではありません。しかし、ニチロ工業の社員に、私どもの経営理念や方針、DNAを何度も繰り返し説明し、基本方針の「お客様のために働くこと」を中心に、メーカー的意識を捨て、お客様の周りを我々が動いて回るという180度転換する意識改革、すなわち天動説から地動説に変える努力を続けております。同社が今まで蓄積した梱包機や新聞関係の発送設備、システム等のノウハウは大変貴重なもので、この知的財産と人材を世界戦略の武器の一つとして社員に活躍してもらい、ストラパックグループはさらに激しくなる国際競争に勝ち進んで行くつもりでおります。

昨年秋迄に両社の重複していた札幌・仙台・東京・名古屋は、古屋・大阪・福岡の営業拠点をすべて同じ建物に集結し、ストラパックの主力工場（川崎工場（製造本部・製造部）は昨年暮れ、横浜にあるニチロ工業の本社工場に移転を完了しました。

当初からお話しお約束した「あけぼの」と「ストラパック」の両ブランドはそのまま維持すると同時に、これまで販売させていた機械のアフターサービス等についても、ストラパックグループは責任をもって最後まで実行しますので、どうか懸念のないように安心して販売していただきたいと思います。

ヘルリンの壁が崩壊するとともに本格化した、ボーダレス時代の到来とともに、あらゆるものがその影響を受けています。日常生活に必要な衣料品はじめ生鮮食料品まで「これも海外製品なのか」というほどマーケットの店先にあふれ、私たちの業界でも「海外製品が入ってこないだろ」と思われた商品が数多く輸入されており、あらゆる面で国際競争が激化しています。そうした中で、企業経営はますます厳しく困難度を増しています。私どもの代理店様は全国に沢山あり、また経営者の皆様はこうした競争時代を生き抜くために、それぞれ知恵を絞って努力をされています。全国の代理店様を訪問させていただきます。多くの事を学び勉強のチャンスが得られることを、私は本当にありがた

お取引先の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は国難と言っても過言でない東日本大震災や福島第一原子力発電所の崩壊など、多くの事件が日本のみならず世界で起こりました。その節は皆様にお見舞いのご挨拶を賜り有り難く感謝しております。お陰様で東北の拠点では人的被害はなく、仙台支店、郡山営業所の移転をしなければなりませんでしたが物的被害は軽微に止まりました。また、10月、11月に発生したタイの洪水においても、協力会社の被災はありませんでしたが、当社の工場にまで到達することなく収束いたしました。むしろ、被災された多くのお客様に対して私どもがお見舞いを申し上げると同時に、ストラパックグループ全体をあげて出来る限りの力で復興のお手伝いをさせていただきます。本当に一寸先は闇、今年もどんな天災・人災が起きるのか予想できません。経済環境も同様、昨年来の円高がいつまで続くか気になります。当社は標準梱包機をタイ、中国で生産していますので、円高の影響は大きくありませんが、一番複雑で難しく重要な



たいと思っています。昔ほどは回れませんが、昨年各地を訪問し、身をもって市場の変化を学んできました。何年かに一度しか回れない地域でも、その地域の変化を掴むことができません。最近感じるところは、各地の会社様がそれぞれ努力されていますが、その努力の方向の違いが結果として明らかになってきているように感じます。中には、まさかと思うような老舗が倒産や廃業に追い込まれ、現状維持に止まっているかきり気が付かないうちに衰退の一途をたどらざるを得ないようです。「そのうちに」と問題を先送りしている」と動きが取れなくなりません。思い切って手を打たなければならぬでしょう。

多くの企業がリーマンショックで大きく落ち込みましたが、その回復期から現在に至る過程を見ると、業績を大きく伸ばしている会社は、大都市より地方に多く見られます。その共通するところは、トップダウンとボトムアップがしっかり噛み合い、うまく回っています。特に社員の方々が皆前向きで元気で、これまで地道に培ってきた社員教育の成果が確実に出てきています。小さい所帯では「教育」と大上段に振りかぶっても無理でしょうが、やはりトップの姿勢と意志を社要でしよう。私たち民間企業は、お客様に商品を買っていただく、初めて利益を得ることができません。企業存続の原理原則は「利益を得ること」「黒字経営を続けること」、このことを社員全員に何度も何度も繰り返し理解してもらおうよう努めなければなりません。要するに、利益が出なければ何もできないということ。「休まず、遅れず、働かず」はお役所のこと、民間企業は「休まず、遅れず、うんとお客様のために働く」でなければなりません。ある元気の会社の営業やメンテナンスを担当する社員の方々は、会社に強制されたわけではないのにお客様に携帯電話の番号を教え、いつでも出動できるように心掛けているということ。泉がどこにあるかを感じました。えてして会社には「斜に構え、不平」を言うような社員はどこにも必ず存在しますが、この人達は今の時代は「同僚と会社」の敵ですから去ってもらわなければなりません。

また、元気の会社に共通しているのは環境整備（5S）が徹底しているところ。社内はもとより、その近所まできれいに清掃し、室内はきちんと整理整頓され、社員のマナーがきちんとしていて、入ると会社の雰囲気がとても明るく気持ちよさを訪問者に感じさせてくれます。もちろん経営方針は各社それぞれ違っています。私どもの代理店様は販売商社が多いのですが、各社とも、単に右から左へ商品を大量に販売することや、価格で勝負というより、お客様に合わせて会社の活動や商品の範囲を大きく広く変化させています。「包材商社」という今までの概念に固まらず、材料や加工設備など予想もしないモノを導入しているのに驚きを感じます。また末端のユーザー様を訪問させてもらっても、我々の常識を超えた経済的な使い方をしている工場もあり、日本という国の底力（経済・社会の厚さ）を感じさせられます。私どもは、今述べたような優良企業には及ばぬ点が多々ありますが、早く追い付けるよう日々勉強努力し、お客様のお役に立つことに集中することを約束いたします。お気付きの点がございましたら、ぜひとも指摘ください。さるようお願い申し上げます。すでに申し上げているように、私どもは梱包機中心から荷造・包装・物流に関連する幅広い分野で、何でも解決し、新しい技術を考え、問題解決を重点に仕事を進め、微力ながら日本の国のためにも働くつもりです。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

Sanisan

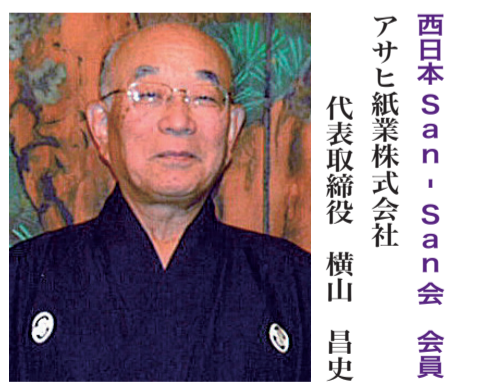
年頭のご挨拶



東日本Sanisan会
株式会社高速
取締役業務本部長 畠山 勝弘



あけましておめでとうございます。ストラパック様、全国のSanisan会の皆様には旧年中大変お世話になりました。ありがとうございます。さて昨年は3月の東日本大震災という未曾有の震災により、日本中が揺さぶられた年でありました。現在でも復興は緒に就いたばかりであり、三陸沿岸部は未だに更地のままだという地域がたくさんあります。本日も仙台の本社をはじめ、三陸沿岸各地の営業所の建物や商品等に大きな被害を受けました。その折には震災直後にもかかわらず多くのお取引先から、ご支援やお見舞いをいただき本当に感謝しております。お陰様で、インフラや道路が寸断された中、当社は全力をあげて、被災地の方々の生活を守るため、包装材の供給を続けることができた。ただ何よりも、永年お取引いただいたお客様が亡くなられたり、事業が継続できなくなってしまうことは、痛恨の極みであり、本当に残念でなりません。



西日本Sanisan会
アサヒ紙業株式会社
代表取締役 横山 昌史

様、そして日本全体にとって今年が一層の繁栄の年になりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

さて、私も京都では暮れ31日夜、八坂神社に新年の食事の用意の火をもらいに行く「おけらまいり」が行われ、火が消えないようにくると回しながら家に帰ります。その道中知恩院の鐘の音を聴き、平安神宮を通り吉田山を見ながら下鴨神社の糺の森あたりでしらすらと夜が明け、家路につくと、新年のおそうにいただきます。

「東北」という能の一節に「春の夜の闇ハあやなし梅の花色こそ見えぬ香やハ隠る、これはまだ、雪の匂いのする季節。お正月の片付けをすませ、はい次は節分です、試験です、新年の準備です：とあわただしい人間たちのそばで梅はふつくと静かに開いてゆく。その姿は優しくかつ気品をたたえ、忙しさに追われる人々に春の訪れを告げるという証です。我々も今一度ゆつくり時の流れにまかせてはいかがでしょうか。さて京都ではよくいただく「花びら餅」、このいわれをと聴かされお話ししましょう。

平安の御代、宮中において中国から伝わった歯固めと称する正月の料理から始まりました。鏡餅に押鮎、大根等を用い延命、長寿を祝いました。その風習は室町將軍家に伝わり鏡餅を菱として菱花びらと称しました。この宮廷の風習とその後の武家の古い習慣を参考にしながら花びら餅が生まれました。新年の初めのお祝いにこの菓子を食べることにより、長寿を重ねんとした先人の願いが込められています。

さあこれから京都には嵯峨嵐山臨濟宗本山天龍寺と今出川通り御所の前に「金閣寺」「銀閣寺」の本山「相国寺」に天に昇る龍があり拍手を打って新年を祝ってはいかがでしょうか。

今年は天に昇る龍のご活躍、ご健康を祈念し新年のご挨拶といたします。

また、事業の方々の支援といたしましては、釜石市にある岩手県の水産技術センター様と提携して、被災された地元の水産加工業者様に包装機械を無償で貸し出す制度を実施いたしました。この施策では、ストラパック様には多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。次は宮城県内での実施も予定しており、沿岸部の復興支援活動として今後も継続していきたいと考えております。

震災から一年近く経ち、売上で見ますと全体的には回復しているように見えますが、震災の影響を反映して、地域、業態、商品によってまだまだ大きなばらつきがあります。本日の回復は東北地方の復興が進んで初めて実現されるのだと思います。ですから今後につきましては、当社はサプライチェーンを担う企業として、各地域の商流を活性化させることに全力をあげて取り組み、それがひいては被災地の生活支援、産業の復興支援につながることを願っております。

ストラパック様、会員の皆様、

また、事業の方々の支援といたしましては、釜石市にある岩手県の水産技術センター様と提携して、被災された地元の水産加工業者様に包装機械を無償で貸し出す制度を実施いたしました。この施策では、ストラパック様には多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。次は宮城県内での実施も予定しており、沿岸部の復興支援活動として今後も継続していきたいと考えております。

震災から一年近く経ち、売上で見ますと全体的には回復しているように見えますが、震災の影響を反映して、地域、業態、商品によってまだまだ大きなばらつきがあります。本日の回復は東北地方の復興が進んで初めて実現されるのだと思います。ですから今後につきましては、当社はサプライチェーンを担う企業として、各地域の商流を活性化させることに全力をあげて取り組み、それがひいては被災地の生活支援、産業の復興支援につながることを願っております。

ストラパック様、会員の皆様、

また、事業の方々の支援といたしましては、釜石市にある岩手県の水産技術センター様と提携して、被災された地元の水産加工業者様に包装機械を無償で貸し出す制度を実施いたしました。この施策では、ストラパック様には多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。次は宮城県内での実施も予定しており、沿岸部の復興支援活動として今後も継続していきたいと考えております。

震災から一年近く経ち、売上で見ますと全体的には回復しているように見えますが、震災の影響を反映して、地域、業態、商品によってまだまだ大きなばらつきがあります。本日の回復は東北地方の復興が進んで初めて実現されるのだと思います。ですから今後につきましては、当社はサプライチェーンを担う企業として、各地域の商流を活性化させることに全力をあげて取り組み、それがひいては被災地の生活支援、産業の復興支援につながることを願っております。

ストラパック様、会員の皆様、

また、事業の方々の支援といたしましては、釜石市にある岩手県の水産技術センター様と提携して、被災された地元の水産加工業者様に包装機械を無償で貸し出す制度を実施いたしました。この施策では、ストラパック様には多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。次は宮城県内での実施も予定しており、沿岸部の復興支援活動として今後も継続していきたいと考えております。

震災から一年近く経ち、売上で見ますと全体的には回復しているように見えますが、震災の影響を反映して、地域、業態、商品によってまだまだ大きなばらつきがあります。本日の回復は東北地方の復興が進んで初めて実現されるのだと思います。ですから今後につきましては、当社はサプライチェーンを担う企業として、各地域の商流を活性化させることに全力をあげて取り組み、それがひいては被災地の生活支援、産業の復興支援につながることを願っております。

ストラパック様、会員の皆様、

東西San-i-San会

定時総会開催!

東日本San-i-San会



に復旧、復興にがんばっていただく被災地の方を応援したいと冒頭挨拶された。特別会員の下島社長からは、総会後の講演をお願いしている「シベール」の創業者、熊谷眞一氏との縁と人となりを紹介し、併せて震災時のお見舞いと支援に心より感謝を述べた。

また、昨年の総会で二子口工業株式取得に至る経緯を話せなかった事をお詫びするとともに、社風や企業文化の違いを乗り越えて、ストラパックの営業力と二子口工業の技術力を併せ持った企業に育てて行きたいと決意を語った。その後、事務局から平成22年度活動報告、会計報告、引き

東日本San-i-San会は昨年10月27日(木)、28日(金)の二日間、山形県上山温泉で平成23年度定時総会を開催した。

今回の開催地は、前回福島県で開催したことをうけて関東地域が候補であったが、3月11日に発生した「東日本大震災」の復興支援「がんばろう東北」の一助になればという思いから山形県での開催となった。総会は山形市に本店を置く焼き菓子のラスクで有名な「シベールファクトリーパーク」内の「シベールアリーナ」で会員、当社社員合わせて総勢40名が集まり開催された。東日本San-i-San会

的であった。16時に仙台駅に到着して現地解散し、皆さん無事に全日程を終了して帰途に着いた。

西日本San-i-San会



続き平成23年度活動計画、予算案が審議され承認された。16時からは「シベール」創業者の熊谷眞一氏の講演「人はたやすく幸せになれる」をテーマに約1時間、創業から今日に至るまでをエピソードを交えながら講演され会員の皆さんは熱心に聞き入っていた。その後工場内見学をした後、上山温泉「古窯」に場所を移して懇親会、二次会と大いに盛り上がった一日であった。翌28日は雲ひとつない絶好の観光日和となり、蔵王のお釜も珍しいほどくっきりと眺望できて観光組の皆さんは、紅葉真っ盛りの秋のみちのくを満喫した半日であったが帰路、宮城県沿岸の町並みの被災、復興状況を視察した際は、皆一様に言葉少なく心よりお見舞いと復興を願う姿が印象

西日本San-i-San会は昨年10月13日(木)、14日(金)の二日間、徳島県鳴門市内の「ルネッサンスリゾート鳴門」において平成23年度定時総会を開催した。第一部

総会は15時半より鳴門グランドホテル「ゴールド・チャイナ」において会員企業45社52名と当社社員11名の総勢63名が集まり開催された。会は西日本San-i-San会 村田会長(福山双葉株・代表取締役会長)の開会の挨拶で始まり、出席者紹介、新会員紹介に続いて特別会員の下島社長が挨拶を行った。

事務局からは平成23年度の活動報告、会計報告が行われた後、活動計画案として各地区部の開催日程や予算案が審議され承認された。終始滞りなく議事が進行し、最後に

鈴木副会長(株鈴瀧・代表取締役)による閉会の挨拶で定刻どおり第一部が終了した。

第二部講演会は同じ会場で(株)四国ビジネスアシスト専務取締役 塚元千恵美氏による講演が行われた。塚元氏は、経営コンサルタント会社で女性社員教育からスタートし、経営診断、経営指導、社員教育、講演などの活動を経て、平成5年夫とともに四国ビジネスアシストを設立して現在に至る経営コンサルタント会社の経営者である。講演は「魔法の一言で社員が変わる!」をテーマに1時間に行われた。

現代の若者の特徴から社員教育の為にリーダースhipに対する傾聴の重要性をスライドを見ながら説明して頂き、出席頂いた会員様の会社運営の中で非常に興味深い内容であった。

第三部懇親会は、200畳の和室大宴会場「大鳴門」に場所を移し、18時より大林幹事(株大包・代表取締役)の開会の挨拶と北野幹事(ネオパックス株・代表取締役社長)の乾杯の音頭で盛大にスタートした。ここで毎年恒例のお楽しみ抽選会が開催され、各々くじ引きの結果に一喜一憂して大いに盛り上がった。その後は各自歓談したり、親睦を深めつつ懇親会は進行し、宴もたけなわであったが20時に伊藤幹事(株錦屋・代表取締役)の中締め挨拶で終了した。

翌朝、現地解散となり、希望者はゴルフと観光の二組に分かれ、観光組は雄大な鳴門海峡を間近に見る『渦の道』の散策や日本三大盆踊りに数えられる『阿波踊り会館』など徳島市内の名所や観光地を尋ねた。観光は16時半に新神戸駅到着で終了し各自帰路について今回の全行程を終了した。

岩手県水産加工センターに梱包機貸し出し

ストラパックでは、当社代理店会「東日本San-i-San会」の会員である(株)高速様の呼びかけに賛同し、

東日本大震災で被災した水産加工業者向けに、梱包機や製封函機の無償貸与を行っている。貸与先は岩手県釜石市にある県水産加工センター。昨年11月より水産加工業者向けに包装・出荷機器の「設置型貸出制度」を実施している。この制度は施設内に包装機器を設置し、水産加工業者が商品や荷物を持ち寄って自由に



包装や梱包作業をできるように開放したものの。

同センターも被災し、昨年10月によりやく一部の業務を再開したばかりだったが県内の企業に一日も早く復興支援を行いたいとして施設内の開放実験室約200平方メートルを整備し、設置場所に充てた。設置には、包装機やシール機、コンベヤといった包装・物流関連機器のメーカーから10社が協力しており当社からは実用性の高い水産型自動梱包機「AQ-7M」、調整型1貼封函機「AS-523」の2機種を貸し出ししている。

今回の取組みは復旧、復興をしたくても機器類の購入目処が立たない企業が数多くあるなかで即効性の高い復興支援策としてマスコミに取り上げられるなど反響を呼んでいる。また、同センターより各メーカーに貸出協力に対する感謝状が贈られた。

1月中旬には、塩釜市に2箇所目の貸出施設が開設される予定で、当社はそちらにも機器類の貸し出しを行うことにしている。

製造本部・製造部 移転のお知らせ

弊社では昨年12月梱包機製造の中核を担う川崎工場内製造本部・製造部をグループ会社の二子口工業(株)本社工場内に移転し、ストラパック(株)横浜工場として業務を開始いた

しました。二子口工業(株)との統合・合併準備を含め更なる業務の合理化、及び作業効率の改善を図って参ります。これを機に、社員一同気持ち新たに社業に励む所存でございますので、なにとぞ倍旧のご理解、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。住所、電話番号、FAX番号は左記の通りです。

・新住所・〒221-0864 神奈川県横浜市神奈川区菅田町2800番地

・電話番号・045-475-7206

・FAX番号・045-475-7207

・業務開始日・平成23年12月26日(月)



News

新製品



自動梱包機 SS-800C

今年1月より本格発売開始

ストラパックは、1981年に発売された自動梱包機SS-800の復刻機「SS-800C」を今年1月より本格的に発売開始した。SS-800は現在の標準機RQ-8の前身の機種で業界初のグッドデザイン賞を受賞したほか、世界中で作られている自動梱包機の原型と言われる世界標準モデル機である。「SS-800C」はこうしたSS-800が持つ強みを全て継承した形でリメイクされた。シンプル機構、安定性に優れたテンションアイム引締方式、堅牢ボディなどの優れた要素を継ぎ、メンテナンスフリーを徹底追求している。アーチサイズは当時と同じW850×H600mmを採用し、広々としたテーブル面で大きな荷物

標準仕様 (アーチサイズ 幅850mm×高600mm)

機械寸法	全幅 1454mm 奥行 598mm 全高 1500mm テーブル高 790mm
機械質量	約 210kg
梱包可能寸法	最大 幅 820mm×高 580mm 最小 幅 100mm×高 30mm
梱包能力	約 2.5 秒/結束 (1 分 / 24 結束)
使用バンド	幅 15.5、12、9mm P P、発泡バンド
ヒーター昇温時間	約 40 秒
使用電源	3相 200V 50/60Hz 0.85kVA

も無理なく梱包可能。

能力は2・5秒/1結束と梱包作業に最適なスピードになっている。ターゲット層はスピードよりも耐久性、操作性、使用環境を選ばない堅牢性を要求する自動機ユーザー全てである。

本機は昨年のジャパンパック2011で初披露され、大いに注目を集めた。定価・オープン価格。仕様は別表のとおり。

標準仕様

機械寸法	全幅 805mm、全長 1640mm、全高 1190mm
質量	約 130kg
処理能力	15～20 ケース/分 ※ケースサイズにより異なります。
ケースサイズ	幅 180～565mm (製函時最大: 360mm) 高 150～490mm ※下記 長さ 200mm～
テープ幅	38～50mm
テープ折り返し	50mm
テーブル高	595mm (～790mm)
電源	単相 100V 50/60Hz 0.18kW

※テーブル高 595mm の場合は 150～490mm、テーブル高を 680mm 以上にした場合は 80～490mm (上下貼り仕様: 105mm～) となります。

簡易型製封かん機の AS シリーズにこのたび上下ベルト搬送タイプの「AS-723」が加わった。本機は、ダンボールケースの箱作りとテープ封函の両方をこなせる一台二役の簡易型製封かん機。同じ搬送方式の AS-223 のエコノミータイプで、低価格化が進む製封かん機市場へ対抗するとともに、従来価格面で機械化を断念していた潜在ユーザーにも裾野を広げるのが狙い。AS シリーズならではの綺麗なテープ貼りとシンプル設計は既存機種で実証済み。オプションの下貼りテープヘッドを搭載すれば上下貼り仕様にできるほかライン高さを 680mm に上げると H80mm の高さの低いダンボールにも対応可能な機能を有している。定価: 48 万円



簡易型製封かん機 AS-723

昨年10月18日(火)～21日(金)の4日間、東京ビッグサイトにおいて(社)日本包装機械工業会主催「JAPANA PACK 2011」が開催された。今年は「さらにかえる」をテーマに、842小間の規模で289社の企業が出展。隔年開催される当展示会では、前回の動員数は9万人を下回っていたが、今回は93743名の来場者を動員した。この結果からリーマンショック以降の不況から徐々に景気が回復していることが伺える。ストラパックは東2ホールに15小間、グループ会社であるニチロ工業は5小間で共同出展し、計20小間の規模で出展した。



JAPAN PACK 2011 ジャパンパック 2011 終了報告!

2011年10月18日～21日
別に分類し、来場者が目的の製品を簡単に比較できるように配置した。

出展にあたり、「食品関連業界」をターゲットとしていたため、「梱包機ゾーン」には水気、湿気に強いステンレス仕様の機種を多く展示し、「システムライン」ゾーンでは、実際の食品梱包をイメージしやすいようなレイアウトでデモンストレーションを実施した。

特に「システムライン」ゾーンでは製函↓帯掛↓封函↓テープ貼検査↓印字↓印字検査↓バーコード読取検査↓二段積梱包ラインを設置し、製品分野別に担当者を配置し、より細かい説明ができるよう心掛けた。中でも透明のOPPテープでも認識できるテープ貼検査機などの検査機器類が人気で、連日ブース前通路が来場者で溢れていた。

また、集客効果を上げるイベントの一環として、前回実施したオークションを今回も採用した。対象機種として、「D55」、「JK-5」の2台を連日1台ずつ出品し大反響を得た。今回のジャパンパックの来場者は具体的な目的や問題意識を持った客が多く、会期終了後、実績に繋がる商談が目立った。こうした結果から非常に内容の濃い展示会になったといえる。

ストラパック事業所一覧

- 本社 千104-0061 東京都中央区銀座7-16-14 銀座イーストビル5F tel.03-6278-1801 fax.03-6278-1800
- 海外営業本部 千104-0061 東京都中央区銀座7-16-14 銀座イーストビル5F tel.03-6278-1805 fax.03-6278-1806
- SE部 千115-0051 東京都北区浮間3-14-4 tel.03-3965-6421 fax.03-3965-5866
- 外装機材課 千210-0824 川崎市川崎区日ノ出2-1-19 tel.044-299-2451 fax.044-277-4958
- 環境資材課 千115-0051 東京都北区浮間3-14-4 tel.03-5916-0678 fax.03-5916-0677
- 営業企画室 千115-0051 東京都北区浮間3-14-4 tel.03-3965-5211 fax.03-3965-4913
- 札幌支店 千060-0041 札幌市中央区大通東9-1 みきビル tel.011-241-6335 fax.011-222-3728
- 旭川営業所 千078-8220 北海道旭川市十条通22-1-12 tel.0166-34-9597 fax.0166-34-9534
- 仙台支店 千984-0001 仙台市若林区鶴代町2-11 tel.022-232-7459 fax.022-231-0779
- 酒田SSP 千998-0864 山形県酒田市新橋5-12-20 tel.023-423-3512 fax.023-423-3583
- 青森SSP 千038-0004 青森県青森市富田2-27-12 tel.017-766-7991 fax.017-781-7519
- 郡山営業所 千963-8052 福島県郡山市八山田4-125 tel.024-938-7210 fax.024-932-2977
- 東京支店 千115-0051 東京都北区浮間3-14-4 tel.03-3965-6181 fax.03-3558-0240
- 東京東支店 千279-0002 千葉県浦安市北栄3-34-19 tel.047-353-6868 fax.047-353-6880
- 東京西支店 千221-0864 横浜市神奈川区菅田町2800 tel.045-475-7260 fax.045-475-2260
- 甲府SSP 千400-0857 山梨県甲府市幸町13-21 tel.055-232-6405 fax.055-232-6404
- 高崎支店 千370-0801 群馬県高崎市上並榎町113-1 tel.027-370-2181 fax.027-370-2026
- 名古屋支店 千463-0032 名古屋市守山区白山1-1003 tel.052-769-0251 fax.052-769-0261
- 北陸SSP 千923-0851 石川県小松市浅井町舟津77 tel.0761-21-1392 fax.0761-21-1392
- 静岡営業所 千425-0084 静岡県焼津市三ヶ名382-1 tel.054-628-1315 fax.054-628-2025
- 大阪支店 千555-0001 大阪市西淀川区佃5-5-2 tel.06-6473-7241 fax.06-6473-7236
- 岡山営業所 千700-0975 岡山市北区今8-13-17 tel.086-244-4112 fax.086-243-3470
- 高松支店 千762-0024 香川県坂出市府中町5573-6 tel.0877-48-2114 fax.0877-48-2142
- 広島支店 千734-0023 広島市南区東雲本町2-10-28 tel.082-282-3011 fax.082-283-9210
- 福岡支店 千818-0131 福岡県太宰府市水城3-12-34 tel.092-921-3400 fax.092-925-2332
- 鹿児島営業所 千891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山5-4-1 tel.099-267-5666 fax.099-266-1205
- 沖縄SSP 千901-2126 沖縄県浦添市宮城3-10-1SKニューコーポB102 tel.098-879-4515 fax.098-879-4515
- 横浜工場 千221-0864 横浜市神奈川区菅田町2800 tel.045-475-7206 fax.045-475-7207
- 筑波工場 千315-0125 茨城県石岡市山崎1028-2 tel.0299-46-4551 fax.0299-46-4553
- STRAPACK, INC. (USA)
HEAD OFFICE...30860 SAN CLEMENTE ST, HAYWARD CA, 94544 U.S.A.
tel.1-510-475-6000 fax.1-510-475-6090
FACTORY...1601 EAST VOORHEES, DANVILLE, IL61832 U.S.A. tel.1-217-431-4000 fax.1-217-431-4041
- STRAPACK (THAILAND) CORP., LTD...139/11-12, MOO17, BANGSAOTHONG
AMPHUR BANGSAOTHONG, SAMUTPRAKARN, 10540 THAILAND
tel.66-2-315-1489 fax.66-2-705-0989
- GORDIAN STRAPPING LTD...GORDIAN HOUSE, BRUNEL RD., BASINGSTOKE, HAMPSHIRE
RG21 6XX U.K. tel.44-1256-840102 fax.44-1256-840190
- STRAPACK, NV/SA
Uilenbaan 200 2160 Wommelgem BELGIUM
tel.32-3-355-1520 fax.32-3-355-1521
- 斯托派克包装机械(上海)有限公司
上海市嘉定区马陆镇丰饶路358号
tel.86-21-6915-4558 fax.86-21-6915-4668